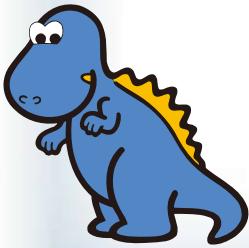


FMC



# カセット<sup>®</sup>粒剤

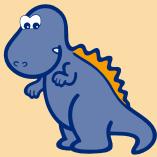
カルボスルファン……3.0%

®は米国FMC社の登録商標です。



ピーマン、きく等のアザミウマ・  
アブラムシを抑える。

箱処理でイネミニズゾウムシを抑える、  
経済的な定番殺虫剤。



## 適用害虫と使用方法

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	総使用回数*		使用方法	
					本剤	カルボスルファン剤		
水稻 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イネゾウムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30x60 ×3cm) 使用土壤 約50l	1箱当り 40~70g	移植前3日～ 移植当日	1回	育苗箱の苗の上から 均一に散布する		
	ヒメトビウンカ ツマグロヨコバエ		1箱当り 50~70g					
	イネシンガレセンチュウ		1箱当り 70g					
ピーマン	アブラムシ類 ミニマキイロアザミウマ	1~2g/株		定植時	1回	定植時:株元散布又は植穴土壤混和 育苗期後半:株元散布		
		1g/株		育苗期後半				
さとうきび	ハリガネムシ メイチュウ類 コガネムシ類幼虫	6~9kg/10a		植付時	2回 〔植付時の土壤混和は1回、 培土時の土壤混和及び 散布は合計1回〕	植溝土壤混和		
				培土時		株元土壤混和		
たばこ	アブラムシ類	6kg/10a		定植時	1回	1回	作条土壤混和	
さく	ネグサレセンチュウ	30kg/10a			3回	3回	全面土壤混和	
	アブラムシ類	2g/株					株元散布又は植穴土壤混和	
つつじ類	ミカンキイロアザミウマ	9kg/10a		生育期	2回	2回	株元散布	
				定植時及び 生育期			定植時:全面土壤混和及び株元土壤混和 生育期:株元土壤混和	
ストック	コナガ	10g/株		生育期	1回	1回	株元散布	
		9kg/10a		定植時	1回		全面土壤混和	
シクラメン ベゴニア	キンケクチブトゾウムシ幼虫	1~2g/株		生育期			株元散布	
プリムラ	キンケクチブトゾウムシ成虫	0.5~2g/株		1回				
イチイ	キンケクチブトゾウムシ幼虫	2g/株						
芝	コガネムシ類 シバオサゾウムシ成虫 ケラ	5~10kg/10a		発生初期	3回	3回	散布	
作物名	使用目的	使用量		使用時期	総使用回数*		使用方法	
					本剤	カルボスルファン剤		
芝	ミニズの糞塚形成防止	5~10kg/10a		糞塚形成時	3回	3回	散布	
	オオハサミムシの 脱出孔形成防止			脱出孔形成時				

## 使用上の注意事項

- 水稻(箱育苗)に使用する場合は、一般的注意事項の他に次の事項にも注意してください。
- 移植当日に使用する場合は、育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。  
移植1~3日前に使用する場合には、散布後通常の管理を移植日まで行ってください。
- 育苗箱の土壤表面が乾燥していて、苗を田植機にのせる際、薬剤落下のおそれがある場合は、散布後灌水してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗の場合には、薬害を生ずるおそれがあるので使用しないでください。
- 稻苗の葉が濡れていると薬害を生じやすいので、散布直前の灌水はしないでください。
- 本田が砂質土壤の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさせてください。
- 処理苗を移植した水田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代わりに丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意してください。  
移植後は直ちに湛水し、極端な浅水、深水はさせてください。又深植にならないように注意してください。
- 移植後低温が続き苗の活動遅延が予測される場合は使用をさせてください。  
又、移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさせてください。
- 本剤処理により時に葉先枯れなどの薬害を生ずることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守してください。

- 畑作に使用する場合は、一般的注意事項の他に次の事項にも注意してください。
- 定植時に植穴処理する場合には、植付苗の根に薬剤が直接ふれると薬害を生ずるおそれがあるので、軽く土壤と混和してください。
- 土壤が極度に乾燥している時は、処理後灌水してください。
- ピーマンに使用する場合、過剰に施用すると、下葉の黄変、葉縁の黄化等の薬害を生ずるので、使用量を誤らないように注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けたいです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。  
●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

※本資料は2015年2月現在の登録内容に基づいています。



### 日産化学工業株式会社

本社:東京都千代田区神田錦町3-7-1  
札幌・仙台・東京・名古屋・(北陸)・大阪・福岡  
<http://www.nissan-agro.net/>